

津波だ 高台へ急げ！

白糠中、高で合同避難訓練

【白糠】白糠高校（田村信明校長）と町立白糠中学校（佐藤毅校長）の初めての合同避難訓練が行われ、参加者は地震や津波など災害時の沈着冷静な行動の大



切さを再確認した。同中学校は義務教育学校「白糠学園」の開校に向けて校舎を改修しているため、今年度から同高校に一時移転している。

17日の訓練

は、授業中に白糠沖で地震と津波が発生したとの想定で、同高校から75人、同中学校から89人が参加した。生徒は教員の誘導で橋北

九合の山を駆け上がる生徒（白糠町役場提供）

2、3区町内会の住民5人と共に町の避難場所になっている旧中学校舎裏の「九合の山」へ走って避難した。その後、避難場所に設置されている防災資機材備蓄コンテナを見学。町役場地域防災課の職員が、簡易トイレや発電機などコンテナ内の備蓄品を取り出して用途などを解説した。

（水谷友路）